

西小校区共生ステーション協議会議事録

議 事 概 要	
開催日時	平成 27 年 1 月 12 日 (月) 午後 7 時から午後 9 時 20 分まで
開催場所	西小校区共生ステーション 会議室
出席者氏名 (敬称略)	浅井正樹、佐藤しのぶ、鈴木芳晴、中島和代、中嶋久善、橋野 玲子、服部志津子、深貝良弘、山本富士子、渡辺聖司 長久手市 たつせがある課 主任専門員 遠藤健一 西小校区共生ステーション嘱託員 加藤一夫

《議題》

1 利用状況について

12 月の施設利用者数は、3,011 人であった。先月同様に未就学児とその母親の利用が増加している。

また、市民提案型プログラムでは、子育て世代を対象にした“森のくまさん”が好評で参加希望者が多い。

2 西小校区共生ステーション開設一周年記念イベントの開催結果について

盛況であったため、イベントに対する個々の参加グループの評価は高かった。全体としての改善点は今後洗い出す必要がある。

3 今日の西小校区共生ステーションの懸案事項について

そば打ち愛好会のプログラムが定期的開催されているが、利用者からそばアレルギーに関する指摘があった。対応策として、プログラム開催時には、屋外にもものぼり旗を立てて、注意喚起することとした。

4 会議室利用登録及び市民提案プログラムの審議について

特になし

5 西小校区共生ステーションの目指すべき方向について

当地域においては、地域特性から住民自ら防災や地域ケアに取り組む姿勢が求められている。

そのためには、西 ふらっと小屋の 3 つのテーマである「子育て・生きがい・ケア」に関する地域団体がフラットなネットワークを構築すること及び市が実施した「ながくて幸せのモノサシづくり」のアンケート結果から見えてくる課題を認識した上で、地域のコミュニティ団体のデータベースを構築することが必要である。

6 年度総括について

大きな問題もなく、2,000 人/月を超える住民が当施設を利用できているこ

とから、まずは順調に運営がされているという認識である。ただ、今後西小校区共生ステーションの目指すべき方向に持っていくには、市の地域担当職員の積極的な参加やスタッフの地域コーディネーターとしてのトレーニングが求められている。

7 その他自由意見

- (1) 西小校区共生ステーションの運営方針の決定や地域の課題を解決するために、西小校区共生ステーション協議会の決定をすべてとするのではなく、広く利用者の声を受け入れる仕組みをつくるのはどうか。
- (2) 西小校区まちづくり協議会設立に向けた取組が進められているが、次回の協議会開催時に事務局から具体的な説明をして欲しい。

以上